



<第66回例会>
午後 のポエジア



— 入場無料 —

<北海道ポーランド文化協会とは> 1987年、設立当時の発起人代表は今村成和(元北大学長)。北海道とポーランドのあいだの文化交流を促進することを目的にし、文学・歴史・美術・映画・音楽などポーランドの文化を幅広く愛する民間団体です。

主催 北海道ポーランド文化協会
後援 駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター
札幌市、札幌市教育委員会
交通 北海道大学クラーク会館(北区北8西7)JR札幌駅から徒歩10分
お問合せ先 TEL/FAX:011-790-8610(事務局)



<第 I 部> 14:00～



<第 II 部> 15:30～



- ◆ 「越境する霧」より ジェラゾヴァ・ヴォーラの空
(若松丈太郎・作) 齋田 道子
- ◆ ポーランドのユーモアの古典 ラファウ・ジェプカ
(Rafał Rzepka)
- ◆ ポーランドのオノマトペの詩 マズル・ミハウ
(Michał Mazur)
- ◆ 「^{ういろうり}外郎売」口上より ～歌舞伎十八番内～
(齋藤孝・編) 氏間 多伊子
- ◆ 「くった、のんだ、わらった」ポーランド民話 大久保 律子
(内田莉莎子・訳)
- ♪ <歌&大正琴演奏>
Nim wstanie nowy dzień 「新しい日があるで」(アグニエシュカ・オシェツカ)
Cichy zapada zmrok 「静かな黄昏れ」(アリム・ドウヴァル)
Chromolę 「まあいいか」(ヴォイチェフ・ヴァグレスキー)
ヨアンナ・クンツェヴィッチ
(Joanna Kuncewicz)
- ◆ 「エレジー」Elegia podróżna 他 シヤレック・レナタ
(ヴィスワヴァ・シンボルスカ・作) (Renata Szarek)
- ◆ 自作詩ほか 長屋 のり子

<休憩>

- ♪ 音楽プレゼンテーション:「ポーランドのジャズ」
- ◆ 「イシズエ」(レオポルド スタッフ・作) ウカシユ・ザブウォニスキ
(Łukasz Zabłoński)
- ◆ 「アイヌ神謡集」から ^{ふくろ}梟の神の自ら歌った謡
「銀の ^{しずく}滴 降る降るまわりに」(知里幸恵・編訳) 小林 暁子
- ◆ 「トマトソースの中の魚缶詰」
(コンスタンティ・イルデフォンス・ガウチンスキ・作)
- ◆ 「友達」
(アダム・ミツキェヴィチ・作) オレヤツジュ・シルヴィア
(Sylwia Olejarz)
& 岩田 真由美
- ◆ 「銃と十字架」(ポロニカより) 霜田 千代麿
(佐々木マキ・作)
- ♪ 「竹の唄」、
^{わらびがみ}「童神」
「竹田の子守唄」 篠笛演奏 福原 光篠
- 会長挨拶 安藤 厚

<懇親会> 17:00～



日本の国内便の飛行機は現在では、沢山の便がほぼ満席で、東西南北を飛んでいる。さて、その飛行機の座席番号に「4」の座席が無い事を覚えている人は何人いるだろう。今度、乗るときは是非確かめて見てください。ついでに「9」(苦)も。

日本民族は太古より、「4」は「死」と同音で発音する為、忌み嫌ったのである。同じ事が「詩」についてもいえる。「詩」と「死」である。唐木順三の著書のタイトルに「詩」と「死」という名著がある。

この国では、「詩」といふものは、書店を見ても、文芸誌を見ても、片隅に押しやられている。乱暴な言葉を使えば、あっても、なくても良い「モノ」という印象さえ受ける。

ポーランドでの留學生活で、その考えがまちがっていた事を深く気づかされた。ポーランド人にと

っては「詩」というものは「パン」と同じくらい「聖書」と同格の、人間にとって一番、スバラシイ芸術という認識がある。「詩」に対しての「尊厳」、「敬意」の気持ちを持っていることを強く感じた。ポーランド文化の最上位の芸術が「詩」である。

松明のごと、なれの身より火花の飛び散るとき／なれ知らずや、わが身をこがしつつ自由の身となれるを／持てるものは失わるべきさだめにあるを／残るはただ灰とあらしのごと深淵に落ちゆく昏迷のみなるを／永遠の勝利のあかつきに、灰の底ふかく／さんぜんたるダイヤモンドの残らんことを・・・ —ノルビット作「舞台裏にて」—

さて、「午後のポエジア」の例会ですが、希望する者は誰でも、参加出演できます。ポーランドに関係したモノ。ポーランド人と日本人の合作で作っています。今年は歌や踊りも、披露されます。乞、ご期待！ (しもだ・ちよまる)



= 朗読 =
「午後のポエジア」
について
霜田 千代磨

午後のひとときをご一緒に！
紅茶 ケーキ 朗読 音楽



すべて入場無料

お申込み・予約不要。直接会場へお越し下さい！

主催 / 北海道ポーランド文化協会

後援 / 駐日ポーランド共和国大使館・ポーランド広報文化センター・札幌市・札幌市教育委員会

交通 / 北海道大学クラーク会館 北区北8西5 地下鉄札幌駅から徒歩5分

お問合せ先 / TEL/FAX: 011-790-8610 (事務局)



「北海道ポーランド文化協会」とは

1987年、設立当時の発起人代表は今村成和(元北大学長)。北海道とポーランドのあいだの文化交流を促進することを目的にし、文学・歴史・美術・映画・音楽などポーランドの文化を幅広く愛する民間団体です。